

平成27年度 学校評価実施報告書

3 2回目評価

| 重点評価項目について評価・改善していくための個別評価項目の設定 | | | | | アンケート実施結果、その他指標の結果について整理 | 自己評価 | 学校関係者評価 |
|---------------------------------|------------------------|--|--|----------------|---|-------------|--|
| 分野 | 評価項目 | 自校の取組 | アンケート項目・各種指標 | アンケート結果・各種指標結果 | 分析(成果と課題) | 自己評価に対する改善策 | 学校関係者評価による意見 |
| 1 確かな学力 | 授業改善 | ・学習確認プログラムの結果分析と研修会の実施 ・研究授業を年間7回実施 | ・教科の授業がよく分かる(アンケート) ・教科によってパラッキがある。 ・家庭学習の習慣が3年生70%、他学年はさらに底づき課題である。 | ⇒ | ・全学年とも、学習確認プログラム等の結果分析から、校内での取り組み不足が見て取れる。予習シートや復習シートを有効活用し、さらに学習効果を高めたための手立てをおこなう必要がある。 ・授業の振り返りを必ずすることで、本時の内容の深まりを目指す。 ・家庭学習の習慣化に大きな課題が見られる。次年度は週末課題の設定や、学年での継続的な取り組みを計画し、検証していく必要がある。 ・朝読書の持ち方について、期間限定で教科学習などの「朝学習」と併用していくことも検討していきたい。 | ⇒ | ・前回でも話題となつたが、教科によって「授業がわかる」の項目で度合いに差異が見られることが気になるとのご意見をいたしました。 |
| | コミュニケーション能力の育成 | ・すべての教科でグループ活動を取り入れ、他者との意見交流を中心とした言語活動の充実を図っている。 | ・学習確認プログラムの結果 ・生徒の聞く・考える・話す様子の変容観察。 | ⇒ | ・授業での、「他の話を聞く」が90%超に対し、「自ら進んで発言する」割合が80%と低いことが見て取れる。 | | |
| | 読書の習慣化 | ・朝読書の確実な実施 ・ピリオドの実施 | ・読書の習慣が身についている(アンケート) ・平日の読書時間や図書室の利用状況(教科での聞き取り) | ⇒ | ・後期は図書室の整備が進み利用者も増えた。アンケートにおいても全体の80%以上が読書習慣が身についていたと回答。 | | ・次年度には、学校運営協議の設立を受け、何らかの学習支援ができる何かを検討していきたい。 |
| 2 豊かな心 | 豊かな心の育成 | ・道徳年間授業計画に従った指導、及び系統的な人権学活の実施。 | ・いじめを許さない仲間づくりができる(アンケート) ・自分や人大切にしている(アンケート) | ⇒ | ・全体として、前期よりポイントが10以上高くなつた。ただし、人が大切にしているでは1年がややポイントが下がったことが気にかかる。 | ⇒ | ・生徒アンケート、保護者アンケートともに「気軽に相談できる先生がいる」という項目でのポイントが低いことが課題ではないかとのご指摘をいたいた。 |
| | 豊かな体験活動の実践 | ・全校一斉クリーン活動 ・ボランティア活動 | ・学校行事や学級の取り組みに積極的に参加している(アンケート) | ⇒ | ・どの学年も前期より6ポイント以上高くなり85%超ができると答えている。 | ⇒ | ・休日参観や学年懇談会等に、保護者の皆様の積極的な参加を促すことを、自治会等でも呼びかけていきたい。 |
| 3 健やかな体 | 基本的生活習慣の確立 | ・規則正しい生活が出来ている。 ・時間を大切にしている。 | ・規則正しい生活ができる(アンケート) ・ベル着席を守るなど時間を大切にしている(アンケート) | ⇒ | ・全体として90%超が規則正しい生活を送っていると回答。ただし2年生で「時間大切な人が前期より4ポイント下がっている。 | ⇒ | ・薬物乱用などの新聞報道がされ、中学生の実態について心配している、とのご意見をいたいた。 |
| | 体力の向上 | ・運動を通して体力を増進し、生涯スポーツ・体力向上活動を推進する。 | ・球技大会や体育大会等の行事への積極的な参加 | ⇒ | ・運動部への入部割合は全体の60%超で、積極的な活動をおこない、全国大会へ出場など成果をあげている。 | ⇒ | ・地生連行事や、少年補導等での取り組みにおいて、子どもたちの健全育成にこれまで以上に支援していきたい。 |
| 4 独自の取組 | 開かれた学校づくり(適切な行動・情報発信の充 | ・積極的なホームページの更新 ・PTAや地域に対する情報発信と意見交換 | ・学校ホームページへのアクセス数。 ・学校や生徒の様子がよく分かる。 | ⇒ | ・後期に入り、昨年度に比べてホームページのアクセス数は平均して30%増を維持している。 | ⇒ | ・アンケートのとり方や時期について、さらに工夫をお願いしたいとのご指摘をいたいた。 |
| | 小中一貫教育の推進 | ・小中情報交換会 ・小中一貫SSH連携事業の推進 | ・情報交換会の振り返り。 ・校内におけるポスター発表会の振り返り。 | ⇒ | ・情報交換会が有意義かつ効果的であったとの意見が多かった。 ・特に2年生におけるポスターセッションが効果的であった。 | ⇒ | ・アンケートの実施時期に合わせた学校行事の計画などを検討し、あわせて保護者の皆様に協力を呼びかけていただく。 |

4 総括・次年度の課題

現状において様々な課題は見られるが、上記の学校評価をもとに次年度の主な重点課題として、以下の3点をあげたい。

1)「いじめ」などの学校生活における重要な問題を未然予防する取り組みとして「つながりプロジェクト」を推進し、早期に発見・迅速な対応ができる学年や学校の体制づくりを生徒指導部を中心としておこなう。

2)さらなる学力向上に向け、授業における本時の目当ての提示や振り返りを徹底するとともに、本校の課題である家庭学習の習慣化に向け、研究部が中心となり学年として継続的に取り組む。

3)本校生徒のメンタル面での課題である自尊感情の高揚、自己有用感を涵養するために、学級でのさまざまな係活動や生徒会活動を中核とした様々な体験活動を企画し、実践していく。